



学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yabe/>

令和8年8月27日

8・9月号

横浜市立矢部小学校
校長 内山 聖司

環境に合わせて

学校長 内山 聖司

今年も例年以上に猛暑の話題でもちきりでした。またそれ以上に各地で地震や台風、大雨が日本列島を襲いました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

皆様の夏休みはいかがでしたでしょうか。子どもたちは、地域のお祭りや様々な行事を楽しんだことと思います。

私は、この夏に金沢区にある野島公園で先生方を対象とした「野外観察研修会」に参加してきました。この研修会は横浜市教育委員会と理科研究会が開催しているもので、横浜市の小学校の先生方が毎年、山・川・海をローテーションして授業や体験活動に生かせる自然観察の指導方法と安全指導について研修するものです。今年は野島公園をフィールドにして海の生き物観察の講師を務めさせていただきました。

野島公園の海は潮の満ち引きによって海水と淡水が入り混じります。また、岩場も砂浜もあり環境の変化が大きく、海の裏手には小さいながらも山があります。そこには多くの生き物が生息していますが、特に注目したいのはカニたちです。この公園には100m四方ほどの空間に5種類のカニが数多く生息しているのです。砂に潜るマメコブシガニ、コメツキガニ、ごつごつした岩場に住むヒライソガニ、水中を漂うタイワンガザミ、山に住むアカテガニ。それぞれが自分たちの住んでいる環境に合わせて、足やハサミの形を変えたり、体の大きさや色、目の付き方などを変えたりして共存しています。

カニだけではなく、すべての生き物は自分たちの住む環境に合わせて進化し、体をその環境に適応させてきたのです。

さて、冒頭にも触れさせていただきましたが、今年の夏も猛暑の話題でもちきりでした。また、想定外の進路をとる台風や経験したことのない大雨、ゲリラ豪雨のニュースも目にしました。これらの原因は地球温暖化に伴う環境の変化と言われています。これからの私達はこの環境の変化に応じていかななくてはなりません。もちろん人間は一代で体のつくりを変化させることはできません。人間にできることは、命を守るための力をつけることです。特に子ども達には自分の身を守るための術をしっかりと身に付けてほしいと思います。学校では命を守るための学習を多く行います。地震・火災の防災訓練はもとより、交通安全教室、不審者対応訓練、防犯教室、SNSを使った犯罪に巻き込まれないための学習もします。薬物乱用防止教室も行われます。子どもたちには常に自分の命をしっかりと守ることを意識してほしいです。今一度ご家庭でもよく話し合っただけければと思います。

子ども達の元気な声が学校に戻ってきます。夏の間身に付けた力を大いに発揮してほしいと願っています。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。